

病院薬剤師とはⅢ

臨床業務

病院薬剤師は“くすりの専門家”として医師・看護師と綿密に連携し、入院患者さんに最適な薬物治療が行えるよう様々な業務を行っています。

ベットサイドでの入院患者さんへの服薬説明をします



くすりの血液中の濃度を測定し、患者さんの状態(腎機能など)に合わせたくすりの投与量などを検討しています



他にも様々なチームに参加し、くすりが適切に使用され、患者様の病状が1日でも早く改善するように努めています



- **感染対策チーム(ICT)**
抗菌薬の適切な選択や消毒剤の適切な使用法等の提案を通じて、院内の感染症の発生予防・患者さんの感染症治療に貢献しています。
- **栄養サポートチーム(NST)**
適切な輸液や栄養剤の選択などの提案を通じて、患者さんの栄養状態の改善・治療のサポートに貢献しています。
- **褥瘡対策チーム**
褥瘡治療薬の適切な選択などの提案を通じて患者さんの褥瘡治療に貢献すると共に、院内の褥瘡発生予防にも貢献しています。
- **緩和ケアチーム**
鎮痛薬の適切な選択などの提案を通じて、患者さんの疼痛緩和治療に貢献しています。
- **がん化学療法チーム**
がん化学療法の投与スケジュール(レジメン)のチェック、副作用のモニタリングを通じて、患者さんのがん治療が安全に行われるよう貢献しています。